

# 三遠南信地域の計画段階評価

## 1. 三遠南信地域の課題

### 防災

佐久間・水窪地区における県道を含めた幹線道路の75%が雨量交通規制区間となっている。地域の道路における災害発生箇所数は、平成19年度～23年度の5年間で268箇所となっている。

### 医療

この地域は、第3次救急医療施設まで60分以上の高次医療空白地域。(図3)  
佐久間・水窪地区から県境を越えて日常的に通院している患者がいるが、所要時間がかかることや道路が悪く、特に災害時の医療サービスが課題。(図4)



図1 位置図

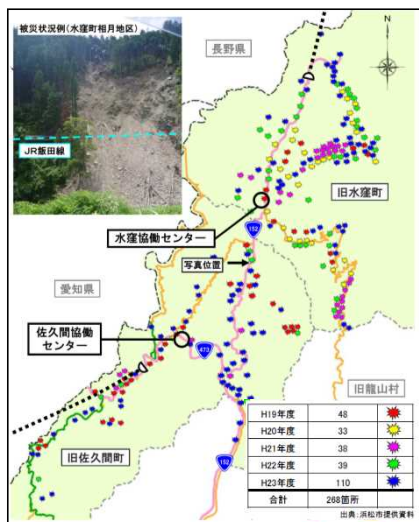
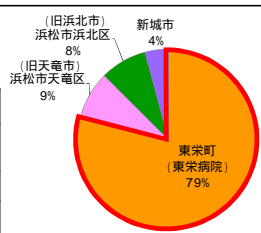


図2 災害発生状況

通院時間	現況
通院(往復)	約1時間42分
治療	約4時間
合計	約5時間 42分

出典：佐久間・水窪地区における透析患者の実態調査(H22浜松医科大学医学部)

図4 佐久間・水窪地区に住む人工透析患者の通院先



### 日常生活

日常生活や都市機能の多くを浜松市都市部に依存し、長時間の移動を強いられる利便性の低い生活環境。(図5)

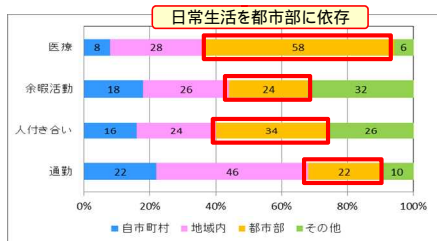


図5 佐久間・水窪地区住民の生活エリア

### 地域連携

幹線道路が脆弱な飯田方面との交流が希薄。



図3 第3次救急医療施設の60分アクセス圏

## 2. 原因分析

### 走行性・速達性が担保されていない脆弱な現道

地質的に不安定な中央構造線及び外帯側を国道が通過。(図6、写真1)  
国道152号、473号に線形不良箇所・幅員不足箇所が多い。(写真2)

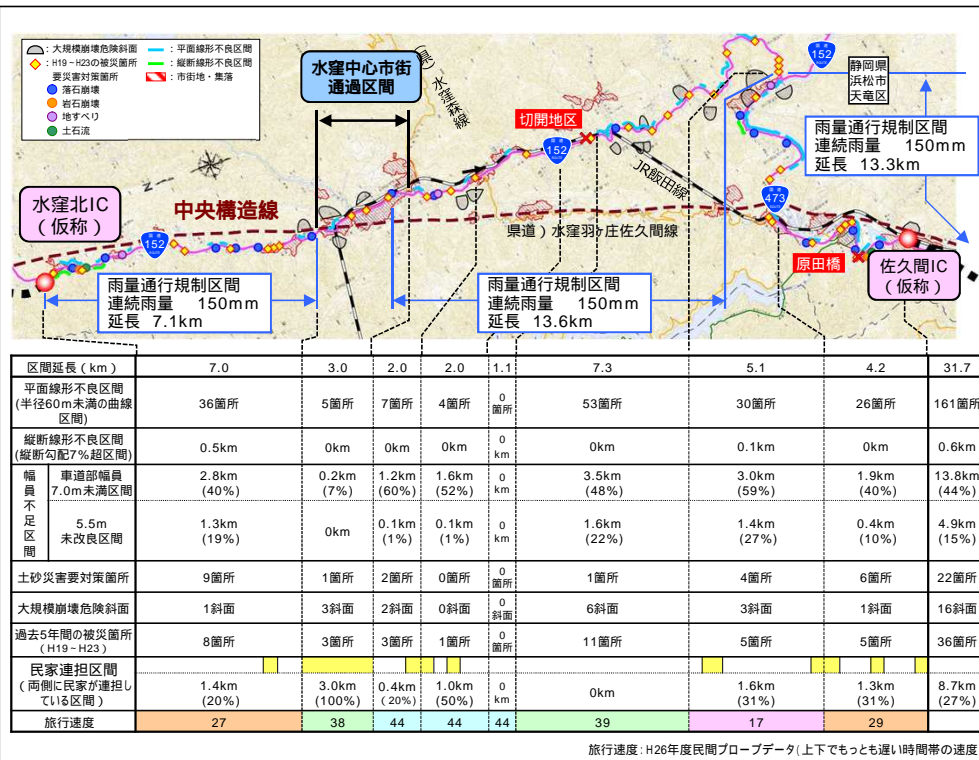


図6 国道152号の課題発生状況



写真1 国道152号被災状況



写真2 幅員の不足する国道152号

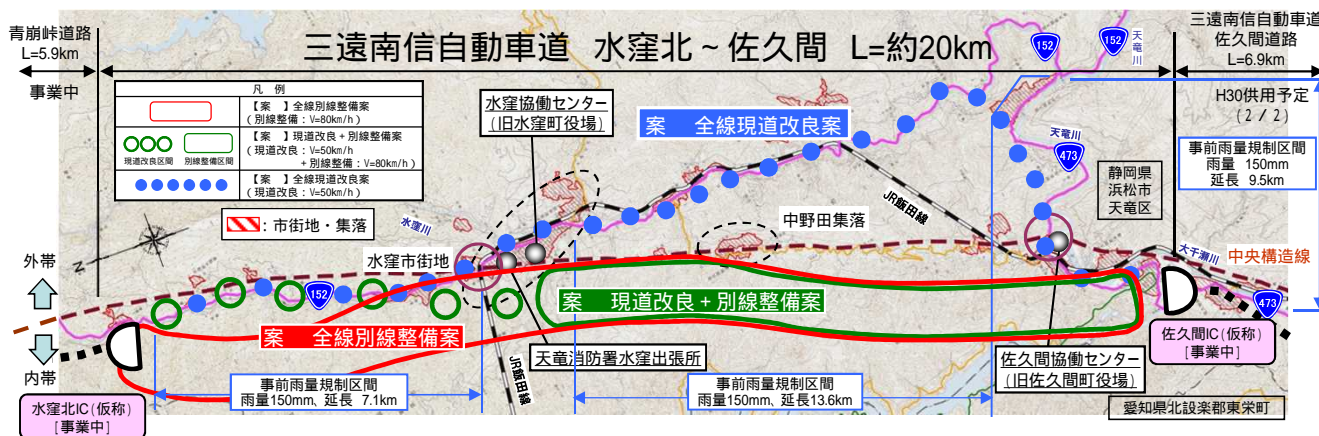
## 3. 政策目標

災害時にも機能する信頼性の高い(孤立しない)ネットワークの確保  
高次医療施設への速達性、基本的な生活利便性の確保  
地域連携の強化による産業、観光・交流の活性化

# 三遠南信地域の計画段階評価

## 4. 対策案の検討

	現況	【案】全線別線整備案	【案】現道改良+別線整備案	【案】全線現道改良案	
ルートコンセプト		全線を別線とし、より高い連絡速度を確保する案	水窪以北の現道区間を活用し、よりコストを安価に課題解消を図る案	全線において、既存の現道を改良し活用する案	
区間延長(水窪北IC～佐久間IC)	約27km	約21km(別線)	約7km(現道改良)、約14km(別線)	約27km(現道改良)	
防災	災害への強さ(水窪～浜松方面)	外帯を通過するため災害に脆弱	別線を内帯に計画しているため、災害に強い	中央構造線と2回交差し、水窪市街～佐久間市街で地質の不安定な外帯を現道改良するため、長期的な耐災性に不安が残る	
	広域防災ネットワーク(浜松～飯田)		浜松～飯田間において、災害に強い道路サービスが実現するため、広域防災ネットワークの構築が可能	一応のネットワークは構築されるが、外帯区間での不安が残る	
医療生活	第3次救急医療施設への速達性 天竜消防署水窪出張所～聖隷三方原病院間の所要時間	約78分	約54分(約24分短縮)	約72分(約6分短縮)	
	浜松市中心市街地や拠点施設への速達性 水窪協働センター～浜松市中心市街地(市役所)の所要時間	約96分	約72分(約24分短縮)	約90分(約6分短縮)	
地域連携	代替性の向上	代替性が無い	全線において代替性が確保される	代替性はない	
	飯田～浜松間の時間短縮 (物流の効率性および観光回遊性の向上)	約171分	約141分(約30分短縮) 効率性および回遊性の向上が期待	約145分(約26分短縮) 効率性および回遊性の向上が期待	約165分(約6分短縮) 時間短縮がなく、効率性および回遊性の向上は期待できない
その他の配慮事項	地域コミュニティの保全及び交通安全	現道沿線に集落が分布	地域コミュニティに及ぼす影響が最も少なく、全線別線のため事故危険性は最も低い	現道改良区間で若干の支障家屋が発生するものの、既存集落への影響はないため、地域コミュニティに及ぼす影響は少なく、一部別線のため事故危険性も低い	家屋移転が多く、コミュニティ確保が困難
	地域との関連性		全線別線で、外来者との関係がとりづらい	現道改良区間では、外来者との関係がとりやすい	全線に渡って、外来者との関係がとりやすい
	整備効果の発現速度		コストが最も高く整備効果の発現までに一定の期間を要する	コストが最も安く、現道の改良を順次行うため、政策目標を最も早期に実現可能	コストが安く、現道改良を順次行うため、整備効果は早期から発現するが、既存集落の大規模な移転に伴うため、全線整備までの期間に長期を要する
	コスト縮減(概算事業費)		約950億円	約740億円(別線:約620億円、 現道改良:約120億円)	約770億円



対応方針(案): 案 による対策が妥当

**【計画概要】**  
**路線名:** 三遠南信自動車道  
**区間:** 浜松市天竜区水窪町奥領家～天竜区佐久間町川合  
**概略延長:** 約14km  
**設計速度:** 80km/h  
**標準車線数:** 2車線  
**概ねのルート:** 図5のとおり

**【参考】当該事業の経緯**  
 H26.3月 : 計画段階評価 対策方針案の決定  
 H30.11.23 : 環境影響評価書 縦覧完了  
**前後区間の整備状況**  
 H31.3.2 : 佐久間道路・三遠道路(佐久間川合IC～東栄IC)開通  
**地域の要望等**  
 H30.7.12月, H31.1月 : 浜松市が財務省、国土交通省に要望  
 H30.7.11月 : 三遠南信自動車道建設促進期成同盟会が財務省、国土交通省に要望  
 H30.7月 : 三遠南信自動車道建設促進遠州地域期成同盟会が国土交通省に要望  
 H30.8月 : 浜松市(自民党)市議団が国土交通省に要望  
 H30.10月 : 三遠南信サミット2018in東三河 開催  
 H30.12月 : 三遠南信地域経済開発協議会が国土交通省に要望  
 H30.12月 : 三遠南信地域シンポジウム 開催

